【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【公開番号】特開2015-79039(P2015-79039A)
【公開日】平成27年4月23日(2015.4.23)
【年通号数】公開・登録公報2015-027
【出願番号】特願2013-214418(P2013-214418)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　27/50　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/04　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/10　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　1/107　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　27/50　Ａ
Ｈ０４Ｎ　1/04　１０５
Ｈ０４Ｎ　1/10

【手続補正書】
【提出日】平成28年9月15日(2016.9.15)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１面に原稿の載置面を有する原稿台と、
前記原稿台の前記第１面とは反対側の第２面側から前記載置面に載置された原稿を検知する検知部と、
前記原稿台の前記第２面側から前記載置面に載置された原稿を読み取る読取部と、
前記読取部を搭載して前記原稿台に沿って走査方向に走査する読取キャリッジと、
前記読取キャリッジを牽引する環状のベルトと、
を備え、
前記ベルトは、前記走査方向に延びるとともに前記読取キャリッジが固定される第１辺部と、前記第１辺部との間に隙間を有して配置される第２辺部とを有し、
前記検知部は前記ベルトの前記第１辺部と前記第２辺部との間の領域に配置されることを特徴とする画像読取装置。
【請求項２】
前記走査方向に並ぶ第１プーリー及び第２プーリーと、
前記走査方向と交差する方向において、前記第１プーリー及び前記第２プーリーと異なる位置に配置される第３プーリーとを備え、
前記ベルトは、前記第１プーリー、前記第２プーリー及び前記第３プーリーに巻き架けられ、前記第１辺部は、前記第１プーリーと前記第２プーリーとの間に形成されることを特徴とする請求項１に記載の画像読取装置。
【請求項３】
前記読取キャリッジを走査させるための駆動源を備え、
前記第３プーリーは前記駆動源の駆動力によって回転する駆動プーリーであり、
前記駆動源は、前記第１プーリー及び前記第２プーリーよりも前記第３プーリーに近い位置に配置されることを特徴とする請求項２に記載の画像読取装置。

【請求項４】
前記載置面には、前記走査方向と交差する方向における第１端に原点が設定され、
前記第３プーリーは、前記走査方向と交差する方向においては前記第１プーリー及び前記第２プーリーよりも前記原点側となる位置であって、前記走査方向においては前記第１プーリーよりも前記第２プーリーに近い位置に配置され、
前記第２辺部は、前記第１プーリーと前記第３プーリーとの間に形成されることを特徴とする請求項２または請求項３に記載の画像読取装置。
【請求項５】
前記載置面には、前記走査方向と交差する方向における第１端に原点が設定され、
第１サイズの原稿を検知する前記検知部を第１検知部とした場合に、前記第１サイズよりも大きいサイズの原稿を検知する第２検知部を備え、
前記走査方向と交差する方向において、前記第２検知部は前記ベルトよりも前記原点から離れた位置に配置されることを特徴とする請求項１から請求項４のうちいずれか一項に記載の画像読取装置。
【請求項６】
前記読取キャリッジの走査を案内する案内レールを備え、
前記走査方向と交差する方向が前記読取キャリッジの長手方向である場合に、前記読取キャリッジは前記長手方向における両端から離れた位置に前記案内レールに対する係合部を有するとともに、前記両端よりも前記係合部に近い位置において前記ベルトに固定されることを特徴とする請求項１から請求項５のうちいずれか一項に記載の画像読取装置。
【請求項７】
前記読取キャリッジの前記長手方向における中央部の位置に前記案内レールが配置されることを特徴とする請求項６に記載の画像読取装置。